

# 2021年4月30日 第3352回例会

於：よこすか平安閣



<点鐘・開会> 18:30 岡田 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<会長報告> \*訃報：久保田会員ご子息4月17日ご逝去 謹んでご冥福をお祈りいたします。

\*ガバナー事務所より

- ・2021-22地区役員・委員会委員就任委嘱の件  
プログラム記載の通り委員長1名、副委員長5名 総勢16名の就任委嘱あり
- ・国際ロータリー第2780地区相模原ローターアクトクラブ50周年記念式典  
6月6日(日) 13:00~14:30 ZOOMにて  
(ID:885 2273 8340 PW:202021)  
登録料：1,000円 出席希望の方は事務局まで
- ・米山奨学生と同窓生の集い  
5月23日(日) 12:30~ 受付・登録開始 平塚ラスカホールにて  
ZOOM併用 (ID:989 4256 5529 PW:570007)  
希望者は事務局まで

<お 祝 い> \*2021年春の叙勲にて佐久間会員が旭日双光章を受章

<委員長報告> \*八巻会長エレクトより地区研修・協議会報告

4月18日(日)地区協議会開催、24日からe-learningにて各自研修項目を受講 いずれもオンラインにて

\*鈴木(兼)幹事より財団奨学生オリエンテーション及びR財団奨学生帰国報告会 報告  
4月24日(土) オンラインにて開催

当クラブ推薦の山下エレナさんはパリ政治学院

喬博軒さんはエモリー大学への留学が決定 8月にそれぞれ留学先へ出発

\*角井ローターアクト委員長より エコバックプロジェクトで作成していたエコバックが完成 次週5月7日の合同例会にて販売 価格1,000円

<幹事報告> \*横須賀芸術文化フェア2021

第20回伝統文化学習鑑賞会として行われる歌舞伎鑑賞会の案内

7月3日東京国立劇場にて 申し込みはチラシの通り

<出席報告> \*出席委員会 小林(一)委員長より4月30日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
118名	107名	76名(6名)	31名	8名	78.50%

<ニコニコ報告>

- ・三 役 小保内会員、新会員卓話よろしくお願ひいたします。たいへん楽しみです。
- ・中村(備)、畑、八木、鷲尾、江口、田村、大石、川出、鈴木(豊)、濱田、長谷川、植田、前田、小山(兼)、角井、高橋(兼)、澤田、兼城、小山(陽)、北村、新倉(兼)、長坂、渡邊、鈴木(健)、野坂、吉田、上林、勝間、福西、齋藤(眞)各会員  
小保内洋子会員、長らくお待たせしました。本日の卓話楽しみにしています。
- ・小保内 会員 本日卓話やらせていただきます。やっとこの日がきました。嬉しいです。
- ・三 役 佐久間会員、旭日双光章受章おめでとうございます。
- ・西村(健)、中村(備)、加藤(兼)、齋藤(兼)、勝見、谷、江口、大石、田中、木村、小林(兼)、濱田、長尾、瀬戸、齋藤(兼)、山下、立石、植田、

前田、小林(-)、角井、Loknath、高橋 勲、小保内、猿丸、澤田、後藤、兼城、五十嵐、小山 陽、徳永、飯塚、北村、上林、田邊、渡邊、小佐野、Enora、江沢、野坂、吉田、勝間、福西、波島、齋藤 眞 各会員  
佐久間博一会員、旭日双光章受章おめでとうございます。若々しく  
ダンディーなお姿でいつまでも頑張ってください。

- ・佐久間 会員 このたび春の叙勲で旭日双光章を頂けることになりました。皆様と共に楽しくあらゆる奉仕活動を継続してきた結果の受章です。これからも一層頑張りますのでよろしく願い申し上げます。
- ・越川ゴルフ协会会长 岡田年度の最後のゴルフコンペをゴルフクラブにて開催します。多くの会員の参加よろしくお祈りします。
- ・高橋 勲、波 島、齋藤 眞 各会員 次年度地区役員・委員会委員に委嘱された皆様、同クラブ委員長の皆様、地区のため横須賀のために頑張ってください。
- ・三 役 西村安彦会員、本日は大変お世話になります。よろしくお祈りします。
- ・長尾、飯塚、齋藤 眞 各会員 西村安彦会員、本日の会場のご提供ありがとうございました。よろしくお祈りいたします。
- ・西村 尚 会員 今日はありがとうございます。
- ・飯塚、齋藤 (眞) 両会員 マスターズ優勝の松山選手、総理大臣顕彰受章おめでとう。オリンピックで金メダル目指して頑張ってください。

## <新会員卓話>

小保内 洋子 会員

改めまして、令和2年2月入会しました小保内洋子です。最初の原稿には50歳と書きましたが、再々延期により51歳になりました。コロナ禍の中、執行役のみなさま大変な舵取りだとは思いますがご配慮いただきありがとうございます。また、医療従事者の方々には本当にありがとうございます。新会員卓話は横須賀ロータリークラブが誇る武闘家の田村さん後藤さんの後になりますので、何を話したらよいか迷いましたが例会が中止になりなかなか皆様にご挨拶できなかったのので自己紹介をさせていただきます。



大阪万博があった年の1970年青森県むつ市生まれです。家族は夫と中学2年生の息子と3人暮らし、息子は喧嘩に勝つためと女子にモテたいという不純な動機でキックボクシングに夢中です。「小保内」は珍しい名字なので初対面の方には必ず出身地を聞かれますが、人生の大半を久里浜で過ごしたので「横須賀市久里浜」と回答しています。なお、司法書士の職名「小保内」は旧姓で戸籍上の氏名は「沼田洋子」です。自分でも「沼田」という苗字がしっくりきておらず、出産の時に病院で何度呼ばれても返事をせず、看護師に逆ギレされたことがあります。また出産時に沢山かかってきた電話に出ていたらやはり看護師に怒られて、携帯を没収されてしまいました。職名を使用している、裁判所、公証役場や法務局での文書には本名が記載されるため、当然お客様には「沼田洋子って誰？」と聞かれますが、公証人の先生は慣れていてお客様が口にする前に「小保内先生のことだから」と説明してくれます。出産前の趣味はテニスとスキーでしたが、今はひたすら韓流ドラマ鑑賞です。東京オリンピックを自宅で生ビールを飲みながら見るために大画面の4Kテレビを購入したのに、もっぱら韓流ドラマを見るためのものになってしまいました。4Kだと俳優がとても綺麗に見られてホント最高です。

青森県むつ市大湊は母の出身地です。祖父母は既に他界していますがまだ家は存在し私や従妹がねぶたや帰省の際に利用していますが、普段は空き家です。それだけでなく困ったことに祖父名義のまま相続登記していません。叔母たちは私がやるだろうと思っているようですが、祖父名義のままです。幼稚園年長の時に父の海上自衛隊幹部候補生学校入学のため、広島県江田島市へ移転しました。江田島の候補生学校は1年なので小学校1年の夏休みに横須賀総監部へ配属になり家族で横須賀市久里浜の官舎へ転居しました。転校してきた直ぐは広島弁で「じゃけん、じゃけん」と言っていたそうですが、すぐに横須賀弁をしゃべるようになったそうです。父は北海道出身で両親とも北国育ちなので温暖な横須賀の地を気に入り、家族全員での転居は横須賀で終わりました。軍港を転々とし海の傍に住み続けており、今住んでいる馬堀海岸も1、2分で海なので、もう海がないところには住めないです。

大湊には陸奥湾のほたと恐山、江田島にはみかんと防空壕しかない田舎から横須賀に引越ししてきた私には横須賀はとても都会でした。江田島から小学校1年生の夏休み明けの9月1日に久里浜小学校へ転入した日のことは今でも鮮明に覚えています。私が転校した当時はまだ旧兵舎の木造校舎が残っており、久里浜小学校、明浜小学校、市立横須賀工業高校、市立横須賀商業高校が道を隔ててありました。転校当初は通学時いったいどの校舎に通えばいいの？と言った感じでした。父は引越しの際職場の海自の部下たちに手伝わせおき、子供心になんで引越し屋に荷物を運ばせないのか？と思いました。今の時代だと間違いなくパワハラです。高校3年の春に官舎住まいを卒業し、母が見つけてきた久里浜の新築建売戸建てを購入し引越ししました。バブル経済初期昭和62年です。2棟現場の1棟目を購入したのですが、3か月後にお隣の2棟目は500万円売値が上がっており、その件に関して母は自分の決断力と行動力の賜物だと30年たった今でも自慢気に言います。バブル経済のせいだと家族は分かっています。でも母は自分の手柄のように未だに言うのでやむを得ず相槌打っています。なお、兄弟は弟が1人います。

小学校の時の習い事は水泳をやっており背泳の選手で、横須賀市の大会でいつも3位でした。そのため小学校で水泳に見切りをつけ、中学に入りソフトテニス部に転向しました。あまり調べないで入部しましたが、私の中学は当時市内において一番の強豪校で、顧問の先生が厳しく大津のグラウンドで試合中にコートでたたかれることは何度もありました。よって大津のグラウンドの前を車で通るといまだに心臓がバクバクします。今と異なり子供が多かった時代で、試合に出るためには部内でのセレクションに勝たなければならず、市内では団体戦では必ず優勝、個人戦も入賞が必須でした。同級生の1番手の男子はテニス推薦で三浦学苑へ進学し、その後実業団でもやっているようです。

大学時代はあまり授業には出ませんでしたし勉強もしませんでした。大学最初の2年間はバブル経済真ただ中だったので、サークルと合コンとスキー三昧で大学ってこんなに楽しいのだと思っていました。法学部だったので女性が少なかったこと、女性のほとんどが司法試験狙いで六法を持っていた中、私と友達の2人だけが合コンに活発で、私はいつも女性側の幹事でした。その幹事経験が経営者としてのマネジメントに役立っています。私の代のラグビー部は強く、よく試合観戦に行っていました。ラグビー部主将は同じクラスなのに校舎で会ったことはなく、国立競技場で見るとのみと言った感じです。親には申し訳なかったのですが、まったく勉強もしないので成績は散々、単位のほとんどが「良」か「可」ばかりで「優」はわずかでした。そのわずかな「優」の中に不得意なフランス語があります。発音においてはリエゾンできず単語も文法も覚えられない、そんな私がなぜ「優」を貰えたかという、フランス語のテストの日に学生運動の人たちが当大学を占拠し火炎瓶を投げ込みジュラルミンを持った機動隊がやってきて、学生は逃げるように指示されました。テストは中止になり、全員「優」になったわけです。火炎瓶を投げ込んでくれた学生運動の方には「優」がもらえたことに感謝です。サークルは間違えて準体育会のテニス部に入ってしまった、当時は理不尽なことだらけであっても怖くて異議を唱えられませんでした。そのおかげで社会に出て会社で働き始めても理不尽でおかしいと思うことがあまり感じられなくなりました。理不尽な規律に免疫力が付いたと思っています。

司法書士を志した理由は大学4年の就職活動での疑問から来ています。30年前の丁度今の季節に就職活動をしましたが、バブルが崩壊して2年くらい経っており、会社案内を請求するも送付してくれなかったところが多かったです。クラスの男の子には請求もしていないのに届いているのになぜだろう、と疑問に思いましたが、それが「アンコンシャスバイアス」だとは当時はわからなかったです。1986年に男女雇用機会均等法が施行され4年経過していましたが、今では耳にしない日はない「多様性」「ダイバーシティー」という言葉も当時は聞くこともなく、就職活動によってむしろ気づくことができました。そこで大学を出た

だけではダメだ、何か自分に武器を持たないと、と思い資格を取得することにしました。クラスの女の子は私ともう1人しか就職せず、他の女性はみんな司法試験組でした。大学4年になっており司法試験を志すには遅すぎる、と思ったら友人が司法書士を勉強していたので、就職した1992年4月から仕事帰りに司法書士予備校に通い、1995年3回目の受験で司法書士試験に合格しました。

司法書士登録して25年経ちます。私が所属する神奈川県司法書士会は現在会員が約1200名で登録当時から考えると倍になりました。商売敵が倍になったということです。仕事は減っており、司法書士を普通にやっても食べていけないと業界では言われます。今回掲載した「仕事ファイル司法書士小保内洋子」と書かれた記事は、朝日新聞記者から中高生新聞と小学生新聞に職業について紹介しているので「司法書士」紹介の取材をさせて欲しいと連絡があり、その時の記事です。13歳のハローワークと同じです。朝日新聞の記者から依頼されたのはそれ以前に横須賀市の報道発表を見た記者から取材依頼があった縁です。私が担当した遺言執行者の事例が朝日新聞に掲載されました。横須賀市に5200万円遺贈した女性の遺志を少し紹介させていただきます。

「私は女学校で勉学に勤しみ卒業したおかげで、充足した生活を今日まで送ることができ、教育の重要性を常々感じておりました。そこで、人生の大部分を過ごした横須賀市と、人生の最期を迎えるであろう横浜市に私の財産を寄贈し、その財産を、次世代を担う子供たちのために役立ててほしいと思い、この遺言を作成いたしました。

横須賀市及び横浜市が、収支を一般公開しつつ、私の遺産を青少年育成事業に充てて、次世代を担える立派な子供たちが育っていく自治体になっていくことを強く望みます。」

生前その女性に「何故勉強したのですか？」と聞くと「(父が再婚し)後妻が家に入ってきて家に自分の居場所がなかった。悔しくて勉強した」とのことでした。自分の境遇を嘆き悲しみくさるのではなく、逆境をばねにして勉学の大切さを理解した彼女を羨ましく思い、また尊敬しました。

遺言執行に当たっては事前に横須賀市と協議し、この遺言の内容に沿って彼女の遺志を実現することができました。横須賀市長とのそのやりとりはここではお話しせず、今度お酒の席で披露しようと思います。

明日からGWのお休みに入る方も多いと思います。よい休日をお過ごしください。

ご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 19:30 岡田 会長

週報担当 中村 清乃